子、鈴木勝美、内村吉明、藤明子、佐藤久子、高橋富武田キェ、高原紀美子、佐 (小坂)柴田辰造、林タミ、 出て下さい。出て下さい。出て下さい。

吉、渡辺准

渡辺進、仲野栄太郎、

佐藤春夫、阿部 佐藤英子、林新

(石母田) 佐藤松子、斎藤紀三、 夫、佐藤ヒロ子、斎藤昌義、 宍戸勝夫、笠原新次、宍戸 米子、高木紀代子、八島京 米子、高木紀代子、八島京

沢豊秋、実沢英子、村上セ村上カネ、村上トシ子、実子、村上公孝、後藤房子、

(光明寺)

(光明寺) 佐野ツョ子、松浦(光明寺)佐野型、 松浦良夫、遠藤は子子、茂 ・シ、松浦良夫、遠藤誠介、・シ、松浦良夫、遠藤誠介、

ス

後藤正一、大波秀雄、徳江ッ、蓬田武年、蓬田カネ、

(泉田)

安彦富美子、林絹代、

藤華子

佐藤健一、小野浩志、後藤佐藤健一、小野浩志、後藤

に ・ (高城) 後藤コシ子、忍:ヨ子、後藤ヨシ子、忍:ヨ子、後藤コシ子、忍:ヨ子、後

藤悦子、寺島悦子、寺島重子 吉田セツ子、吉田ツヤ、斎

三男、宍戸信子、八巻キミ

十名、映画「結婚の条件」「三 の各地区から選ばれた婦人五

成

人

者

名

簿

至自昭昭和和

一五。四。二)生

キョ子、大和田紀夫、菅野佐藤君子、紺野亮子、池田

次男、武田俊、広居尚子、田五郎、吾妻タカ子、渡辺

佐藤サダ子、実沢末吉、

吉

阿部ヒサ、

松浦功、阿部チ

イ子、阿部和夫、笠松タカ、

谷津スイ、

佐藤喜一、遠藤

ツエ、谷津チヤ

字佐美陽子、菊地由紀子、

ジ、神尾実、内村モト、斎洋子、武田ヨネ子、内村フ

会教育課赤津千町先生の指導

潑になるものと期待される。 当町の新生活運動も一段と活

◎新しい道徳を

4、迷信やろう習をやめる 3、虚礼をやめる

調を合せることが簡素化の趣「家を圧迫していると同時に、

で、青年婦人の協力によつて

2、冠婚葬祭を簡素化し、1、時間励行

٨

間の作業計画を立てるにも都 をつかう方が季節に合い、年多少の難点はあつても、新暦

年年悪化の一途をたどつていめる中小企業者の経営状態は

る。これは大資本家が小資本

合よく、あらゆる点で合理的

である。また全県、全郡と歩

ダを排除する

◎世の中の生活環境

運動は、生活の合理化、簡素とおりである。もともとこの 化にふみきつていることは、

一相談

所

中小企業の経営合理化に

役

毎日の新聞、ラジオの報ずる 年は全県一致して新正月一本

化をねらつたもので、やはり

○現在町内に居住している者

○現在居なくとも成人式当日

(藤田)

市山稔、市山仁市、

キニエ 黒田俊雄、

成人式に参列する者 (一月十五日)帰つて来て

紀子、東城紀一、佐藤伊子、 紫カツェ、菅野芳子、池田 野村義悦、小西美恵子、小

京子、佐々木昭夫、菊地菊菊地茂生、菊地昭子、菊地子、佐藤園子、斎藤紀三、

高野英子、本間章衛、武田

(山崎)

蔵、菊地勝夫、佐藤忠三

吉田善重、吉田喜八郎、折浅野茂、吉田綾子、吉田登、山崎)村上一義、高橋忠光、

(塚野目) 高橋勉、菊地義春、

小池孝、後藤ヒロ子 政子、村上英子、大波和子、

菊地マサ、

佐藤キミエ、

菊

逆

正

0 0

(B) (D) 新

40

地嚴、高橋守雄、佐久間尙子

(+)

子、 當野金蔵、

0

新

正

月

本

11

今

年

专

町

そ

3

2

7

完

全

実

施

今

年

は

全

県

そ

3

0

て

運

動

中

で

す

(内谷)

鴨田恭一、鴨田清一、

笹木弘、

鸭田紀

敏子、鈴木辰雄 鈴木正行、

、佐藤三紀、

佐久間忠敏、

佐久間宮子、 全

氏家チョ、

佐藤

サ子、佐藤博正、佐藤安男、イ子、小野政治、三ノ輪マ

(森山)

佐久間久子、谷洋ス

子、村上豊子、大沼静子、

高橋スズ

(川内)斎藤光正、大浪政輝、 が大コウ、後藤容子、岩城 総本コウ、後藤容子、岩城 が子、鈴木シヅェ、鈴木引 ウ子、佐久間トシ、鈴木引 瀬戸トシ、木村辰雄

(大木戸) 佐藤ヨネ、

志村良

次、渡辺シズエ、谷津チイ、

笠清 吉田善重、

(鳥取) 武田勝義、若生勇、

藤アキエ、赤井畑由利子、藤原、秦裕俊、宮内祥五、佐藤松男、東海林三紀子、徳藤松男、東海林三紀子、徳藤松男、東海が三紀子、徳藤松男、東海が三紀子、徳藤松男、東海が三紀子、徳田が明治が東京が東京が東京が東京

秋

中郁男、高橋アイ子、

安藤正雄、朽木キヌ

で、自発的に下から盛り上げ

る運動でなければならない。

輯

新生活運動は、上から命令さ

生活改善講座で話合い

一活運

前

く、めいめいが自分でよく考行うような筋合のものではな

挙法、道路交通法など

議、講師のお話をきいた後「 2、法を守る運動、例えば選つの村」などを見ての六六討 1、国旗を立てよう

かつた新正月も、不良天候の

今春八〇%の成績で評判のよ

万難を排し

分れて熱心な話合いをした。

ると大体次のようなものがあ

とり上げられた問題を要約す | 5、青少年の不良化原因を除

し、若い人を理解しよう

く運動

え、また大ぜいでよく話しあ

さ

ま

ざ

ま な 創 意 ٤ 工 夫 で 売

平 和 な 国 に 明 る 【第39号】 LI 昭和35年12月15日発行 < b

国見町公民舘 佐 藤 善次郎 鈴木 美一 宇佐美印刷所

発行人 編集人 印刷所 6 放しよう ラジオやテレビの見方き

有毒な出版物や映画を追

4 5

発行所

露式、慰労会その他

2、家計の合理化のために記 3、冗費をやめて貯蓄をしよく 帳生活をを実行しよう 1、家族計画をうまくやろう 5

8、宴会はきまりよくしよう き方を研究しよう 健全な娯楽を研究しよう

披

定休日の設定とその活用

で場と共催で開催した水稲増 と 農業改良普及所および国見町 を 会長渋谷一衛氏)が桑折地区 会長渋谷一衛氏)が桑折地区 は 国見町農業改良推進協議会()

と三斗五升である。 で最高は八島健一氏の十一俵 が二十四点 (昨年十二点) 十

思つています。」 皆様の御期待にそいたいと 俵以上が三点(昨年は一点)

う仕事は、私の性格に合つ が山積しています。こうい

生懸命勉強して一日も早く ていて大好きですので、

五〇万羽養領所得倍増と

鶏

8

新正月一本化と正月行事 余暇をつくりうまく使う

の簡素化

7,

呂場、便所の改善

本位の住宅とし、台所、風6、住生活の合理化特に家族

食生活と栄養の改善 衣生活の工夫と改良

栄

冠

八島健

君

一六六点のうち反収九俵以上された。それによれば参加数 の多きに及び、特に十俵以上 が七十八点(昨年は五十一

(5)

る相談、メ

経営及び技術に関する情々相談、メ

3、桐其他の喬木三間以上

点

「中小企業には困難な問題経営改善普及員菅野正美氏談

4 、宅地防風林 (いぐね) としての喬木は種えない に三尺以上の間隔をとつ て種え、その高さは七尺 以上としないこと。

報、資料の収集並に提供

収競技会の結果がこの程発表

水稲増收競技会

◎家庭生活の科学化 寄附の明朗化

究と実行

国産品の愛用

共同利用の研

を迎えた新正 本化

品

種 名

◎生産性を高め、経 共同化 反当換 算収量 4.750 4.550 4.550 4.425 4.425 4.325 4.225 4.225 4.225 4.225 4.200 4.175 4.075 4.075 4.075 4.075 4.000 4.000 4.000

3、共同作業、共同利用の2、生産技術の工夫改善2、生産技術の工夫改善2

トルハサチ新トル藤ルルサトル コト藤トチ新農ト藤 ツサコ ケ グ カ ガ 坂 ヨ 林 坂 ワ ニシウラワ 5 グ モ 5 カ 6 1 ワ 5 グ キャノイ号ダ 号 レダ チダ号ダイ号号ダ号

実行しましよう 名 地区名 大藤小藤大。小藤大藤大。森小藤森藤小大大。森藤大木 木 江 木 木 江 木 江 木 江 木 江 木

部殊に達北だけの問題で、今 道であるとの見解から、今度た。しかし、これは伊達の一 みをそろえることが幸福への後 戻りしそうな 情勢 になつ なく、世の中のみんなと足なあおりで仕事がおくれ、また | 侯現象などに支配されること 思うと、一時的、局部的な天旨にもそうものであることを 順位 氏 八吉熊奥茂遠高山佐八斎渡佐菅八菊徳鴨瀬渋渋佐市星島田坂山谷藤野田藤島藤辺久野島地江田戸谷谷久川野島田坂山谷藤野田藤島藤辺久野島地江田戸谷谷久川野健惣栄邦良惣喜長清 太正高 順 善亀良貞 喜健惣栄邦良惣喜長清 太正高 順 善亀良貞 喜 1 2 3 4 5 6 7 8 8 8 8 12 12 14 14 16 16 16 19 20 20 22 22 22

いう声が強いようだ。 生 3 の通りで、大いにこれを利用 る。事業内容の主なものは次 して菅野正美氏が常勤してい 所」には、経営改善普及員と 所内に店開きした「商工相談 員も決まり、又農業改良普及

談 することは、気持のよくないとないの場合によった。他人に迷惑をかけられたり、ましてわがいましてわがいましてわがいましてわがいる。というないというない。

は注目すべきことである。輸 最も合理的な経営を図ろうと

出造花業を本業としている佐

しこれが伐採方を要請するこ

ため、大いにこれを研究して た。当町の如き農業地帯にお 堅実なる発展に一歩を進め いても時代の進運に対処する

たび各部落会及び各家庭に対いので町農業委員会ではこのて、社会生活上甚だ面白くな

またげとなるばかりでなく、

人間関係悪化の原因ともなつ 果樹などは、とかく増産のさ

る便宜と補助金を交付して、 モデル地区を指定し、 て、差当り県下五十数ヶ所に 呼応して九月県会の決議を経 法を制定し、本県またこれに

種々な

境界線沿いに植栽されている 宅地防風林(いぐね)や田畑の

りましよう

政府は本年四月一日養鶏振興 養雞の画期的振興を図るため

境樹木は

伐

佐久間清氏

る期間を過きても実行しない自発的に伐採又は移植し、或ものであるから、まずお互に

ットは町民各位の理解と善処 五○万羽養鶏」なるパンフレ 元の第になる「町民に訴える で見に訴える

もやつばり新正月をやろうと

理化を図らなければ、自滅す業者が一致協力して経営の合 よるもので、今こそ中小商工小資本家同志の不当な競争に (1)、金融及び信用保証に関すいる。 門指導員が当ることになつて 高度の専門にわたるものは専

る相談 指導

(3)、経営合理化に関する相談 、指導 談、指導

(4) 指導 労務及び社会保険に関す

あとのバスで行くんだか

るものとする。

舎に入らない様に防寒設備ない様に、又すき間風が畜

二、新に他人の耕地に隣接して永年樹木と有法をいよう境界級人の財産をおりた。 「根状他人に教習をおよう信息ないよう境界級人になること。」 「但し桃等比較的大木と相当に対した」。 「但し桃等比較的大木との間」 「但し水等に対した」。

旧正族 母「アッ 坊や!! らお待ちよッ」 坊や「いやだい!! みんなあのバスに乗つたん だ」

薬が常時出ないようにする、立木の所有者は、境界線は、立木の所有者は、境界線 よう所有者の御協力をお願右の伐採は早期に完了するちにこれを伐採すること。 上にかぶさつている部分に現在境界線より他人の耕地 ついては、立木所有者は直

直・1、経営海記 家計海の整理 と記帳開始の準備 と記帳開始の準備 (舘報十一、十二月号参照) 3、水稲作付計画 2、営農設計の樹立 経営内容を検討する家族会 経営内容を検討する家族会 ◎水田裏作では排水溝の設置 ◎ 畜舎の防寒設備 を完全にする様に。 寒風が直接家畜の体に当ら

されることを望んでいる。尚 ている。 一評を受けているので、おそら 極めて低姿勢のもので、良識れた要請の回覧は左記の通り どの申合せによつて処理する う。尚今回同委員会から出さ ようにしたらどんなものだろ ところがあるとき、部落会な く一〇〇%の実行が期待され ある農家各位からは絶大な好

藤田" 森江野" "一月九日 11

◎今年の秋は天候不順なため 14 /モ

度の計画を樹てましよう。したが、今年の反省と来年 に作業がおくれてしまいま

断 0

小坂小学校 十二月廿六日 廿七日

であるが、今までの男の領

問題である。婦人代議士の 位の向上にはならない。 分に喰い込んだだけでは地 進出している。それは事実

しろ人間としての向上こそ

あるが、

わが国の家庭の現

状では、これが理屈として

々そのように行われてはい はわかつていても実際は中 らないのは近代的考え方でに対等、平等でなければな 間として上下の差別なく互

方の支柱は社会教育でありみ出来るものではない。一 ることは論を俟たない。

成は、学校教育によつての て生きてゆくための人間形 幼児を保育して、 しての家庭の問題である。 高な姿に胸をうつものがあ 庭の愛情の発酵母体として

級」も「読書するお母さん」

両者の基盤は家庭教育にあ

三は経済を中心とする家庭

価値があるわけである。第 も「記録する婦人」も存在

活に甚だしく欠くことがあ の問題である。大食住の生 関係から成立している。人

妻の横の軸と親と子の緓の

題がある。家庭生活は夫と

先づ「愛情」についての間 家庭のことを考えるには

ろう。

第二は「教育の場」と

社会とし

悟がなければならぬ。そこ 教師たるに価するだけの覚 時代に生きる人間をつくる

に婦人の教養の重要性があ

「婦人会」も「婦人学

出来た、あらゆる職場にもあろうか。婦人の代議士も き地位の向上が実現したでう。しかし果して満足すべ あり、

次には社会保障制度

をもたらしたものが三つあ

先づ教育制度の改革で

人運動も、

昨今は一歩退い

しての家庭を営むには何ん 中にあつて「憩いの場」 ては更に濃厚である。その ならぬ。それが農家にあつ

戦後わが国に大きな変革

婦人の地位の向上であろ の拡充強化である。第三は

のである。

の婦人を考える時、その崇 愛情に依らねばならぬ。 と言つても、婦人の人間的

育のためには親みずからが 欠かぬであろう。子供の教 解決策でないことは、身近 たりすることは何等の問題 えつけたり、力で押し切つ が、上から下への命令で抑避けられない問題ではある

かにその実例を挙げるに事

てもよい時機のやうに思う て家庭を考えることがあつ けることを中心に考えた婦 か。戦後婦人の眼を外に向 おれたちはまだ若いんだ。

き誓い合つたではないか。 おれたちは、一生新婚旅行の

もりでくらそうと、あのと S子よ、元気を出せよ。

このごろ、そのくたびれよう

あれから五年足らずの今日

0

围

旗

を

立

7

ま

L

ょ

う

0

今

年 ت

そ

火

事

を

出

さ

ぬ

ょ

う·····

町

民

総

消

防

婦人特集 5 "

が光れば一家は明るく、おまも女は一家の太陽だ。おまえるというものだ。何といつて 近く若妻学級が開かれるそともよく相談してうまくやれた光れば一家は明るく、おまか、うまくいかぬはずがないも女は一家の太陽だ。おまえ、もと婦人連合軍の仲間でない みの話し相手になつてくれた は眼を通しておき、 おれの勉強のはげみにな おまえも是非参加し

一ぷく休 でうんと勉強してくれ。生けれためには、多少経費や時間がためには、多少経費や時間がためには、多少経費や時間がためには、多少経費や時間がためには、多少経費や時間があかかってもかまわぬ。遠慮 難や乳牛の管理は一さいお前 にまかせるつもりだ。 しないでどんん〜要求しろ。

よく言つておく。なあにもと 姑やばあちやんにはおれが だ。

(三十男より)

互四十ともなれば、 ま ま な 注 文 を

言いたいことも言わないでが自制心も出て、日頃はお互に 覚悟の上で、気ままな注文を かかれる心配もないだろう。は少々並べても、まさかひつ まんしている。舘報紙上なら つけて見ることにしよう。 しかしそこは年の功というか 々しく、なかなか深刻になる。 も手伝つて、夫婦げんかも華 いつかはやりかえされるのを は数あるものだ。恐縮してとえ農繁期でも、公用私用れ。四十男ともなれば、た ず気嫌よく 送り出してく 出かける先に文句をいわ 生活の苦しさ

れるな。 家計簿のしめくくりを忘

算報告をきいたことがないるようだが、さつばり決 せつかく記帳生活をやつて

見

婦

人に

望

ts

族制度と共に、法律上は一

供の問題等は、

社会が新ら 反抗する子

嫁と姑の問題、 のある愛情が要求される。

しく変ろうとしている際に

関白のあることを認めねば 掃されても依然として亭主 ない。家長制度は封建的家

―主として家庭婦人に―

公民舘長

佐

藤

善次郎

手間にすばやく見出しぐらい

新聞がきたら、炊事の片

事に出るときなど、ほんのり

うものだ。 句をいわず気嫌よく送り出 出かけるのだからあまり文 した方が帰りをいそぐとい 子供や老人をいたわつて

それを子供や老人にぶつつ 夫に対する不満や家計のや や子供は当惑するだけだろ 小言を向けられても年寄り けないでくれ。原因不明の りくりで不平があつても、

輪差でも眺めるような静かさ まい香のもので、濃いお茶な 鉄びんの音を聞きながら、う うはいかない。 も欲しいものだが、実際はそ │思う。妻はこれを聞いて「勝 どをいただき、さざん花の一 結婚して三十年、四十年も 考夫婦の朝などは、たぎる " 妻 K B 0 さ あつてもよさそうなものだと がきいていて、気持ちに新鮮な がきいていて、気持ちに新鮮な がきいていて、気持ちに新鮮が、気 申 手なことをいうのではない、

一愛情の進化とでも云おうか。 うことは少ない。若しそうだ 激だとか、刺戟、興奮だとかい たつと、若い人達のように感 とするとこの身がもつまい。

到底望むべくもないことで |も立てないで、朝起きると新 一がよい。亭主は、寝たほうき ない、妻の立場になつて見る亭主ぐらいわがままなものは 飯々と叫ぶ、あと片付け 聞を読む、そして顔を洗つて

もらいたい。

四、つかれたときには一本つ おしにはこれが一番だ。 けることを忘れないでほし てはどうか。 もつと役に立つ勉強をし 何といつてもつかれな

雞の世話、子供のしつけ位なくとも、うまい料理や、なくとも、うまい料理や、もないんだ。いや話は出来もには、おやぢ学級も男会 はないか。なにつ、あんただつて話したことがないで 近頃婦人会だ、婦人学級だ とせつかく出て行くようだ もだまつている? おれた 帰つて来ても、一ぺん一体何を習つているん

おります。それから、集会 づき、毎日、日記をつけて

ないから、月末、年末のしい。へそくりまでとはいわ めくりだけははつきりして

になつてもらいたいね。 は責任をもつてやれるよう の後のノートの整理は必ず (中年層の男より)

き

1

若

妻

Ø

ت

え

若妻のよろこび

はまず第一に書くことに気 学級ができて三年、以来私 働きつづけてきたが、若妻 どもの成長のみを楽しみに だけの農村のあけくれ、 なんの刺戟もない、 働く 子 眠れないくせがついてしま ど筆記して、かならず寝る 重大ニュースや家庭記事な 前には何かしら読まないと をまくらもとに持つてきて に読むことです。毎晩新聞 役に立てております。

するでなし、

困つた宿六だ」

てみました。

研究です。 蔬菜の研究、

どはわかりませんが、興味だけはおぼえ、色の調和なに、なんとか心体客位の形 のあるうちは、昼休みなど す。第四はいけ花、夏の花 重労働しても体力のつづく が出てきて、きらさずいけ ど見たりして計画をたて、 料理など、ときどきやりま ようにと、心がけて習つた

とは、第一に育児法、次は これから身につけたいこ 第三は料理の

なので、いろいろ栄養表な

という。

末である。そんな亭主もかな 騒ぎでない、もの申される始 「妻にもの申す」ところの

このごろは毎日ごはんたき いました。第三は料理です。 後から見て 第二

だろうが、 妻にもの申す主人も多いこと り多いことだろう。もちろん 私にその資格はな は る。 (老年層の夫) た (もない、そんな妻であるのであ と 感謝している夫であるのであ と でありたい。もちろん妻には でありたい。もちろん妻には でありたい。

さ

れ

る

もの少く語り、そしてお互に 孫の守りでもして、静かに

増収である。四・五メに比べ一四・四メの

ると一〇八・九メで昨年の九 た。八島氏の収量を反当にす

お 母さんに申上げます

もつと若返つて下さい

11

競 技

地区名

大木戸

森江野

藤

大 枝

田

成 績 表

品種名

革新1号

会

青年 の

声……

大豆増収

八島

斎藤 忠男 11

松浦 新七

佐久間正寛

佐久間貞吉

븝

の曲り始めた人、もう曲つて 見たいと思います。 時時話題になることを書いて しまつたおばあちやん達、こ ん達の会だといわれます。 現在の婦人会は、ばあちや わたくしたち青年の集りで

どんな問題をもつて集つて居 早く切りかえることが、のびす。婦人会は若い嫁さん達にす。婦人会 す。婦人会は若い嫁さん達にか。そこでわたくしは考えま 方がよいのではないでしよう はおそらく嫁に答えてもらう も知れない、しかしその問題 人達にとつては大きな問題か るのだろうか。たしかにその の様な人達は、どんな望み、

でしようか。 婦人会の大切な任務ではない ことこそ自主的な集りである ないでしようか。このような 庭、社会がきずかれるのでは会が生まれ、明るく楽しい家 のびした、明るく楽しい婦人

年寄りとしてグループを作り をすればよいと思います。 「今どきの姑」としての勉強 若い人を出しても年寄りは 二十代三十代の若妻の希望

ついた婦人の強固な地位が のである。かくてこそ地に られるよう切に希望するも 更に政治にも経済にも向け 家庭にむけられ、しかる後 婦人」を要求される由因が 政治の問題とに無関係では して社会の経済的な仕組と 存在するものではない。そ あるが、社会から隔離して を構成する基礎的単位では 解決されない種々な問題も はあるが、 解決すべく努力する事柄でれの家庭の人々が協力して つけない母子家庭もある。 たない人や、求めても職にてもくく最低の暮しさえ立あるが、社会の現状は働い ある。私は婦人の眼が先づ あり得ない。そこに「考える ある。家庭はたしかに社会 このような問題はそれぞ 家庭だけでは

れで婦人会なのだろうか?こ 若い人には若い人の夢と希望 う考えてもありません。一寸やんの考えが一致する筈はど 希望を自由に伸ばしてやるの があると思います。その夢と の虫にも五分のたましいとか と、五十代六十代のおば、 しよう。 がおとしよりの任務でありま 私 人になりたい はこんな T·N)

もつていいきることの出来る 分の思つていることを確信を 強くなりました。しかし、自を述べることも出来、確かに められ、どこでも自由に意見 えられ、社会の一員として認 われております。 戦後婦人は強くなつたと言 女 青 参政権を与 の声 になつた_o

とするのは大変な努力と思いたので、それを今すぐやろう つたし、言おうともしなかつ の意見を言うことも出来なか

生課より

1

2

3

3

3

運動」に御協力を 歳末たすけあ

町民の皆様に呼びかけること **貧困のために暗い生活の人達** 会の合同会議を開き、病気や瀬を間近に控え、民協、婦人 るものであるが、今年も年の に少しでも温い心を贈ろうと の灯となり、社会を明るくす 多くの人々の胸に明るい希望 温い思いやりの心をもちよる 「歳末たすけあい運動」は、

がお伺い致しますの 町民の皆さん、どうぞ温い心 を御喜捨下さい。婦人会の方 80%に年金証 ◎さあ、えんりよしないで最 とり下さい……反収十二俵

乗り下さい…新正月号パス

・ あつて、わが町の国見モとっつ かねてから、非常な意気込でつ かねてから、非常な意気込で 町内該

◎少々あと味のよくない公明

·新生活運動

逐举

良のとしを迎えて下さい

思います。 (Y・S) いつも身につけておきたいと いはつきりした自分の意見を を考えてはいけないと思いま性は、人に頼つて生きること でも話の出来る、真似事でな 的な行動と、いつても誰の前 す。その為には、何事も積極 証書の交付を行うことになつが加入し、近く第一回の年金当者の約八○%(十一月末日)

Ŷ s 成人式には心の 晴着で参加 しよう

成人者の申合せー

大豆の王座

は

年も八島氏

た。 にふさわしい態度でこれに望九日夜打合会を開き、新時代 うけるわけであるが、

これに 春一月十五日に晴れの成人式別項二百余名の若人たちが新 もうと次のような申合せをし ついて各地区の代表者は去る を迎え、町を挙げての祝福を

に引続き、連続王座を獲得しは次の通りで、八島氏は昨年

今年の大豆増収競技会の成績

避けること 席して成人としての教養を とし、華美に流れることを 成人講座にはなるべく出 身なりや服装は質素を旨

坪 当 子実量

3634

307

257

218

218

成人講座は 身につけること 十二月二十三日(月八日(日) 金

おの感想発表、記念講演、祝 者の感想発表、記念講演、成人 者の感想発表、記念講演・成人 者の感想発表、記念講演・祝 者の感想発表、記念講演・祝 つて出席し、たのしい一日三、学校時代の同級生誘い合 賀会食などあるので、 はもれなく参加していただき を送ること 該当者

/編″ "集" "後" /記"

©さあ、えんりよしないでお ○さあ、えんりよしないでお |◎さあ、えんりよしないでお相談下さい……商工相談所 ◎さあ、えんりよしないでお ◎さあ、えんりよしないでお ◎さあ、えんりよしないでご ◎わが夫にもの申す「妻のこ 入り下さい… 伐り下さい…… いで下さい…… とば」を歓迎します 編集部 ·越境樹木 :成人式 ··婦人会